

応も異なる。純粹の石炭粒子は軽油と作用してくつき、丸いベレット状になる(集塊)。硫黄、灰およびその他の不必要な無機物は水中に残るので、細かい網で集塊をすくい上げればよい。

回収される石炭の性質は、分離に使われる軽油の量と攪拌の程度による。少量の軽油で激しく攪拌すると、石炭火力発電所で使える上質の極小集塊ができる。軽油の量をふやしてゆつくりかき混ぜると、汽車に適した、少し大きめのベレットとなり、軽油をさらに多くするとスラリー(油性石炭)として発電所で使う石油の代替品となる。

実験は、ニュー・ブランズウィック州チャサムの石油火力発電所で一九七七年以来進められているが、ノバ・スコシア州のケーブ・ブレトンでは、石炭純化装置で使う水から極小の石炭粒子を取り除くことによって作業のスピードを上げている。水は再利用されている。

BC州、ウラン採掘を中止

ブリティッシュ・コロンビア州政府は二月末、同州におけるウラン採掘を今後七年間中止する、と発表した。

BC州のウラン鉱は、現在ほとんどが探査の段階だが、ノーセン・エナジー・リソース(本社トロント)を中心とする企業グループでは、埋蔵量千五十万ポンドと

推定されるウラン鉱を開発する矢先であった。同グループは昨年十一月、韓国に対して七百万ポンド(現在の価格でおよそ三億ドル)のウランを供給する仮契約を結んでいた。

省エネ住宅の設計で カナダ人建築家に優秀賞

カナダとアメリカの東部十一州がこのほど開いた省エネルギー住宅の設計コンテストで、カナダ人建築家のダグラス・キャンベル氏に優秀賞が贈られた。

キャンベル氏の作品(写真)は、二階に三つの寝室、二階に台所、居間、食堂、地下に娯楽室と貯蔵室を設けた、一見ごく普通の住宅。しかし、冬にあまり日の当たらない北側に一切窓をつけず、南側に採光スペースを多くとったこと、屋根の傾斜を六十度にして日光が入りやすくすると同時に将来は太陽熱の集熱板がつけられるようにしたこと、そして特に断熱にオンタリオ州のトルーフオーム社が製造している「カノ」 という材料を使っているのが特徴。

「カノ」は、基本的には柱をとりにつけたポリス



チレン板で、柱を一本一本組み立てて空間に絶縁材を埋め込む代わりに、ポリスチレン板を張るだけでよい。また蓄熱用の石をとりにつけた空調式暖房器(冷蔵庫ほどの大きさ)を地下室に設置する。これで冷気を吸収してそれを電氣的に温め、家中に環流させる。余熱は蓄熱石に貯わえ、必要に応じて使うことができる。暖房器は、夏にはエアコンとしても利用でき

る。この省エネ住宅だと、年間の暖房費は通常の半分から三分の二くらいで済むという。

世界初の合成石油精製所 エドモントン近郊に建設

トロントに本社のあるシエル・カナダ社が、アルバータ州エドモントンの近くに世界で初めての合成石油精製所の建設を予定している、とグループ・アンド・メール紙が報じている。

それによると、精製所はオイルサンドから抽出された石油を精製・加工するためのもので、当初はアルバータ州北東部に現在操業中の二つのオイルサンド・プラントから石油原料(フィードストック)を得るが、将来はシエルなどを中心とした三番目のプラントで生産される石油原料に切りかえるという。このプラントは、建設費五〇億ドル以上をかけて、一九八五年までに完成する見込みである。精製所は、今年着工し、建設費

三億五千万ドルで一九八三年には完成の予定。当初の生産規模は日産四万四千バレルだが、いずれは拡大されることになっている。精製所では、オイルサンドからとれた原油を一部加工した合成原油を精製して、ガソリン、ストーブ燃料、ディーゼル、ジェット燃料を得るほか、近くの石油化学工場群に原料を供給する。

オイルサンドからとれる(合成)石油は、一九八五年までに、シンクルード社のプラントで日産十二万五千バレル、サンコー社のプラントで日産六万バレルになる見込み。シエルを中心とするアルサンズ・プラントでは、日産十四万バレルを計画している。

動物の糞から格安の燃料

日本の灯油の値段は、一リットルおよそ六十五円。ところが、動物や人間の糞(ふん)を使った実験によると、一リットルわずか十二円という燃料ができるという。

実験をしているアルバータ州のウィルバー・グリフィスさんとD・M・グランツさんによると、鍵は触媒の酵素にある。この酵素を糞と大麦ワラの混合液に入れると、液は煮沸して透明の可燃性溶液となる。それがメチル燃料で、灯油、ディーゼル、あるいはさらに精製して自動車用燃料の代替品として使える。

現在はボイラーのようなタンクで実験しているが、二トン規模の

ものだと二トンの排せつ物から二〇ガロン(四五〇リットル)の燃料と八一〇キログラムの有機肥料ができるという。リットル当り十二円という生産コストは、糞とワラ(あるいは野菜)が無料で得られる場合の計算。

「赤毛のアン」のミュージカル 劇団「四季」が各地で公演

日本ゼネラルアーツと劇団四季が、ミュージカル「赤毛のアン」を提携公演する。ドナルド・ハーロンの脚本を、梶賀千鶴子と吉田美枝が翻訳し、浅利慶太が演出するもので、アンには久野綾希子が紛する。

(四月四日(九日)東京・日生劇場を皮切りに、習志野、盛岡、仙台、長野、新潟、金沢、横浜、名古屋、静岡、岡山……などの各地で公演が予定されている。

イベント

三月 BC州よりマクグレゴリー・エネルギー・鉱山・石油資源次官補を団長とする金属・技術ミッションが来日(四月四日まで滞在)四月 リオナ・ポイド・ギター演奏会(東京・都市センターホール)より各地で。

カナダ防衛大学の世界研修・視察団が来日。

五月 カナダ電子機器展(トレド・センター)